



赤松学舎 世田谷区立松沢小学校

学校だより

10月

令和7年9月26日(金)

世田谷区立松沢小学校 校長 寺崎 晶子

URL <http://school.setagaya.ed.jp/mawa/>



「ボランティアの力」

副校長 増田 美和

松沢小学校では、様々な教育活動の中でボランティアの皆さんに助けていただいています。

まずは、PTAの活動です。役員のみなさんは、本校の子供たちのために学校をよりよくしようと活躍されている究極のボランティアです。ちなみに、1学期はPTA企画のイベント「こどもまつり」がありました。この企画は、PTAでボランティアを募り、毎年多くの保護者にお手伝いをお願いしています。今年も「きんぎょすくい」「ぽんぽんしゃてき」など、楽しいコーナーで、子供たちが充実した時間を過ごしました。

また、本校では、学校運営委員会主催で毎年「夏休みわくわく体験教室」を開催しています。今年もたくさんの体験教室を開くことができました。こちらもすべてボランティアの皆さんのご尽力で成り立っています。地域の方だけでなく、大学生も活躍してくれました。

それから、学校支援地域本部のコーディネートによるボランティア活動もあります。「家庭科ボランティア」、「まちたんけんの付き添いボランティア」、「読み聞かせボランティア」等です。学校支援コーディネーターの方が、教育活動の内容に応じて必要なボランティアを集めてくださいます。その他にも、数え上げたらきりがないうほど、本校は多くのボランティアの方々に支えられています。

ボランティア活動は、お一人お一人のボランティア精神が全てです。ボランティアの皆さんの損得勘定を抜きにした純粋な思いは、子供たちの成長に大きな恩恵をもたらすのではないのでしょうか。

2学期がスタートして、これからたくさんの場面でボランティアの皆さんの力をお借りします。まだボランティアを経験していない皆さんも挑戦していただけたら幸いです。日頃から、ボランティアで助けてくださる皆様に深く感謝するとともに、本校の子供たちが、ボランティア精神に溢れた、誰かのために頑張れる大人になれるよう、今後もぜひご協力をお願いします。

生活目標

すすんで仕事をしよう

- ・すみずみまできれいにそうじをしよう。
- ・あとしまつをきちんとしよう。
- ・みんなのために働いている人に感謝の言葉を伝えよう。



「おめでとう！ きはだ学級 創立50周年」

今年度、きはだ学級は創立50周年を迎えました。2学期学校公開初日の9月20日に、50周年イベントを体育館で開催しました。パフォーマンスキッズ・トーキョーのみなさんとの創作ダンスのパフォーマンスも発表しました。在校生をはじめ、卒業生やそのご家族、元担任の先生や学校生活サポーターなど、きはだ学級にかかわったたくさんの方々もお見えになり、盛大にお祝いをしました。



<特別支援教育>

「特別支援教育とインクルーシブ教育」

近年、「特別支援教育」や「インクルーシブ教育」という言葉を耳にすることが増えてきました。どちらも子供たち一人ひとりを大切に、その子らしい学びや成長を支えていくための考え方です。

インクルーシブ教育は、障害の有無や特性にかかわらず、すべての子供がともに学び、ともに育つことを目指す教育のあり方です。学校の授業や行事、休み時間など、あらゆる場面で「自分の居場所がある」と実感できることを大切にしています。本校の「インクルーシブ教育システム構築」も5年目を迎えました。4月に行った「インクルーシブ教育システム構築研修」では、本年3月に世田谷区が策定した“せたがやインクルーシブ教育ガイドライン”について教職員で学びました。

特別支援教育は、学習や生活の中でつまずきや困りごとがある子に、必要な工夫や支援を行う教育です。くすのき学級（知的障害特別支援学級）、きはだ学級（肢体不自由特別支援学級）やすまいるルーム（特別支援教室）、通級指導教室だけでなく、通常の学級の中でも、教材や教え方を工夫したり、その子の得意なことを伸ばしたりする取組が含まれます。大切なのは、「できないこと」に目を向けるのではなく、「できること」「伸ばせること」に光を当てることです。

特別支援教育は、インクルーシブ教育を実現するための具体的な手立てとも言えます。お互いの違いを認め合い、一人一人が大切にされる環境の中で、子供たちは安心して自分らしく成長していきます。得意なこと、やりたいことがある一方で、学校生活を送るにあたり、いろいろな困難さを抱えた子供もいるはずで、円滑に学校生活を送れるよう、松沢小学校では、校内委員会を行っています。校長、副校長、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラー、該当児童の学年担任団など、学校全体で児童一人ひとりの困難さや悩みを共有し、学校のできる手立てを皆で考え、対応策を練っています。学校での手立ての他、ご家庭の協力をお願いするケースもあります。

お子さんについて、「気になること」「対応に悩んでいること」「心配なこと」がある場合は、ぜひご相談ください。相談窓口はお子さんの在籍する学級担任、スクールカウンセラー、特別支援部門統括主幹、もちろん管理職でも構いません。いつでもご相談ください。

<うさまつタイム>

特別活動部主任

1学期にうさまつタイム(1・6年、2・5年、3・4年のきょうだい学年での交流)を行いました。異学年で遊んだり話したりすることにより、互いのよさを知り、温かい人間関係を育むことができます。

上学年児童が下級生を思いやり、よく考えて計画しました。下級生は、初めは話し掛けることに緊張している様子も見られましたが、交流が進んでいくうちに打ち解けていきました。2学期、3学期と続けて同じ学年と交流していきます。年間3回行う予定で、さらに絆を深めていきます。

【1学期のうさまつタイムの様子】



<運動会に向けて>

運動会委員長

今年度の運動会も午前中で終わるプログラムで実施します。演目としては昨年度同様かけっこ・短距離走、団体競技、表現を行います。教職員一同、力を合わせて最高の運動会にしたいと思います。子供たちに向けて温かい声援をよろしくお願いいたします。

10月から運動会に向けての練習が始まり、普段より多く体育の授業が行われます。今年は9月の中旬まで暑い時期が続きました。暑すぎて外で遊べなかったことが多くあったため、体力が落ちていたり、暑さに慣れていなかったりする児童もいると思います。児童の様子を見ていきながら少しずつ体を慣らして練習に取り組んでいきます。子供たちの安全管理には努めていきますが、ご家庭でも引き続きお子様の体調管理をよろしくお願いいたします。

詳しい保護者向けのお知らせやプログラム、当日学校に入るために必要なリボンは、10月17日(金)に統一して配布しますのでご確認ください。

11/2(日)

8時30分～ 開会式

11時20分頃～ 表現

8時40分～ かけっこ・短距離走

(1年→2年→3年→4年→5年→6年)

(2年→1年→5年→4年→3年→6年)

12時15分頃～ 閉会式

10時20分頃～ 団体競技

(低学年→中学年→高学年)

(上記時程は現段階での予定です。)